

その1

すげっちゃんが、 宮崎の農林水産物！



肉用牛 飼養頭数全国 3位

「宮崎牛」は「全国和牛能力共進会」で、内閣総理大臣賞を史上初の4大会連続で受賞しました。

大相撲(おおずもう)の優勝力士には、県知事賞として牛1頭分が贈呈(ぞうてい)されます。

きゅうり 収穫量全国 1位

鮮度抜群の「ワンタッチきゅうり」など、高い生産技術により年間を通じ高品質で安定した量を出荷する一大産地です。

「ワンタッチきゅうり」は、収穫(しゅうかく)と同時に箱詰めするので、きゅうりにさわる回数を減らして鮮度を保つことができます。



日向夏 収穫量全国 1位

1820年頃、宮崎市赤江で発見された一本の木から広がり、年間約3千トンが出荷される宮崎の特産品になりました。皮と果肉の間にある白いワタの部分に甘味があり、果肉と一緒に食べるとおいしいです。



すぎ素材(丸太)

生産量全国 1位

平成3年以降、連続で全国1位

まふ・
ジョー
の一言



宮崎県は、九州の東部に位置し、総面積 7,735km²のうち森林が 75.7%で、農地は 8.5%となっています。

「日本のひなた宮崎県」に象徴されるように、日照時間や快晴日数は全国トップクラスで平均気温が高く温暖な気候にめぐまれています。

一方、大消費地から遠いという不利な面もありますが、高速道路や、空港・港湾の整備など、交通・物流の整備が進んでいます。また、令和4年度からは新しい大型カーフェリー2隻(せき)が就航し農産物の大消費地への輸送が期待されています。

すげっチャが、 宮崎の農林水産物

その2

きんかん 収穫量全国1位

完熟きんかん「たまたま」は、大玉で糖度16度以上と甘く、生のままおいしく食べられます。



ブロイラー 飼養羽数全国1位

年間1億羽以上を出荷しています。関連する多くの産業があり、地域で働く人や経済を支えています。

ピーマン 収穫量全国2位

ビタミンCの含量が高く、「みやざきビタミンピーマン」として健康に着目した販売にも取り組んでいます。



マンゴー 収穫量全国2位

完熟にこだわり、樹の上で熟成させ自然に落果したものだけを集荷します。完熟マンゴー「太陽のタマゴ」は全国的に有名になりました。



まふ・
ジョー
の一言



宮崎県には、他にもたくさんの農林水産物がありますが、「へべす」を紹介します。

県北の日向市発祥の香酸(こうさん)かんきつで、皮が薄(うす)く、種が少ないので果汁がたっぷりです。また、まろやかな酸味とさわやかな香りが特徴(とくちょう)です。

「へべす」の名前は、江戸時代に「ちょうそかべ へいべえ」さんが、偶然見つけたことに由来し、「へいべえさんの酢みかん」が転じて「へべす」になったと言われています。